



Photostud

THE FUCHU HIMBA STAKES

第73回 府中牝馬ステークス (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 38,000,000円 15,000,000円 9,500,000円 5,700,000円 3,800,000円
付加賞 490,000円 140,000円 70,000円



レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

牝、3歳以上、2024.6.15以降2025.6.15まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2025.6.22 東京 晴・良 芝1800m (国際) (特選)

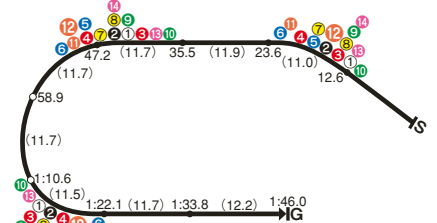
順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑫	セキトバイースト	牝4	55.5	浜中 俊	1:46.0	6-2-3	35.2	458(+2)	7.1⑤	四位洋文(栗東)	108
2	⑦	カナテープ	牝6	53	大野拓弥	1	4-6-4	35.2	484(+12)	6.8③	堀 宣行(美浦)	101
3	④	ラヴァンダ	牝4	54	岩田望来	½	8-7-7	35.0	488(+6)	5.8②	中村直也(栗東)	102
4	①	ウンブライル	牝5	54	石川裕紀人	クビ	12-10-10	34.8	482(+6)	39.0⑩	木村哲也(美浦)	102
5	⑪	タガノエルビータ	牝4	54	団野大成	½	2-2-2	35.7	464(+6)	6.9④	斉藤崇史(栗東)	
6	⑥	エリカヴィータ	牝6	52	丸山元気	ハナ	1-1-1	35.8	466(+8)	190.8⑨	国枝 栄(美浦)	
7	⑩	ウインエーデル	牝5	52	原 優介	½	14-14-14	34.6	452(-4)	22.8⑧	吉田直弘(栗東)	
8	⑬	カニキュル	牝4	52	戸崎圭太	½	12-13-13	34.9	506(-4)	3.4①	菊沢隆徳(美浦)	
9	⑨	ラヴェル	牝5	56.5	津村明秀	クビ	8-7-7	35.3	462(-4)	15.1⑦	矢作芳人(栗東)	
10	⑤	アスコルティアーモ	牝5	53	荻野 極	クビ	4-4-4	35.7	458(-6)	35.9⑪	林 徹(美浦)	
11	⑧	ミアネーロ	牝4	55.5	M.ディー	1	8-10-10	35.4	482(-10)	11.2⑥	林 徹(美浦)	
12	③	シングザットソング	牝5	55	三浦皇成	1½	6-7-7	35.8	450(-2)	25.2⑨	高野友和(栗東)	
13	②	グランラムアスク	牝6	51	吉田 豊	1	8-12-10	35.8	458(-8)	99.3⑩	矢作芳人(栗東)	
14	⑭	フィールシンパシー	牝6	54	横山琉人	½	3-4-4	36.4	462(+6)	23.1⑩	小島茂之(美浦)	

単勝⑦110円(5½%) 複勝⑩260円(5½%) ⑦230円(3½%) ⑭190円(2½%) 枠連⑤-⑦960円(4½%)

馬連⑦-⑩3,030円(11½%) ワイド⑦-⑩1,050円(11½%) ⑩-⑭950円(8½%) ⑦-⑭630円(4½%)

馬単⑩-⑦5,250円(20½%) 3連複⑦-⑩-⑭5,790円(13½%) 3連単⑩-⑦-⑭42,820円(120½%)

5重勝⑩③④②⑩175,504,160円(3票) 対象競走：阪神10R／東京10R／函館11R／阪神11R／東京11R



通過タイム： 600m 800m 1000m 上り： 800m 600m
35.5 - 47.2 - 58.9 47.1 - 35.4

アラカルト

- ・浜中俊騎手は府中牝馬S初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算59勝目
- ・四位洋文調教師は府中牝馬S初勝利。なお、騎手としても00年トゥザヴィクトリーで本競走を制覇。騎手&調教師での勝利は野平祐二元調教師(騎手として6勝、調教師として2勝)以来2人目のこと。JRA重賞は本年初勝利、通算5勝目
- ・デクラレーションオブウォー産駒はJRA重賞通算4勝目
- ・4歳馬の勝利は24年ブレイディヴェークに続く通算32回目
- ・シングザットソングの菅原明良騎手は病気のため三浦皇成騎手に変更

セキトバイースト Sekitoba East

牝 鹿毛 2021.1.30生
北海道新ひだか町 タイハイ牧場生産
馬主・TNレーシング 栗東・四位洋文厩舎
馬名意味・赤兎馬+東

ベアフットレディIRE系 F1-m

デクラレーションオブウォーUSA Declaration of War 鹿毛 2009	War Front 鹿毛 2002	Danzig
		Starry Dreamer
	Tempo West 栗毛 1999	Rahy
		Tempo
ベアフットレディIRE Barefoot Lady 鹿毛 2008	Footstepsinthesand 鹿毛 2002	Giant's Causeway
		Glatissant
	Lady Angharad 鹿毛 1996	Tenby
		Lavezzola

5代までのインブリード：Rahy S3×M5 Northern Dancer S4×M5
Blushing Groom S4×M5 Nijinsky S5×M5

INTERVIEW

八尾圭樹ゼネラルマネージャー
(タイハイ牧場)

さらに強くなった姿を見て驚きました

前走の内容が良かったので期待はしていましたが、今回さらに強くなった姿を見て驚きました。生まれた頃から背が高く脚も長くて、きれいな馬という印象が強かったです。牧場時代から期待はしていましたが、それ以上の結果を残してくれています。今後は大きなレースに出る機会が増えると思いますが、自分の能力を発揮して無事に走ってくれることを願っています。

T.Miki



デクラレーションオブウォー産駒の本馬は昨年、チューリップ賞2着、大逃げを打ったローズSでも小差の3着に粘り込んだ実績を持つ。今年1月に3勝クラスを勝ち上がった後は中山牝馬S12着、福島牝馬S10着と大敗を重ねたが、前走の都大路Sでは中国から徐々に進出して完勝し、幅を増した脚質と、ひと皮むけた強さを印象付けていた。次位タイのハンデを背負い、正攻法で押し切ったこの日の走りは、本格的な証明するもの。ひと息入れ、激戦の疲れを癒して臨む秋はさらに大きな舞台での活躍が見込めそうだ。

父デクラレーションオブウォーUSA

英、愛、仏、北米13戦7勝(インターナショナルS・英^{G1}、クイーンアンS・英^{G1}、ダイヤモンドS・愛^{G3}、ヘリティジS・愛^L、エクプリスS・英^{G1}2着、BCクラシック・米^{G1}3着、サセックスS・英^{G1}3着)、14年から愛、豪、米、日で供用〔代表産駒〕**ヴァウアンドデクレア** Vow and Declare(メルボルンC・豪^{G1})、**ウォーニング** Warning(ヴィクトリアダービー・豪^{G1})、**オルメド** Olmedo(仏2000ギニー^{G1})、**グーフ** Gufo(ベルモントダービー招待S・米^{G1})、**ファイアアットウィル** Fire At Will(BCジュベナイルターフ・米^{G1})、**デコレティドインヴェーダー** Decorated Invader(サマーS・加^{G1})、**ウイニングウェイズ** Winning Ways(クイーンズランドオークス・豪^{G1})、**エレクトリックガール** Electric Girl(ミリーフォックスS・豪^{G2})、**ヴォヤージュオリアー** Voyage Warrior(香港スプリントC^{G2})、**シルヴァープロスペクター** Silver Prospector(ケンタッキージョッキークラブS・米^{G2})、**アーミーワイフUSA**(ブラックアイドスザンS・米^{G2})、**シランケド**(中山牝馬S^{Gm})、他に重賞勝ち馬多数

母ベアフットレディIRE

加、英、愛、仏20戦5勝(カナディアンS・加^{G2}、ネルグウィンS・英^{G3}、リリックS・英^L、ミュージドラS・英^{G3}2着、ロッキンガムS・英^L2着、コロンネーションS・英^{G1}3着、プリンセスエリザベスS・英^{G3}3着、ファーストオブクライドS・英^{G3}3着)、13年輸入

アクロバットラン(14 牝父ディーブインパクト)中央5戦0勝

アスタービーナス(15 牝父ディーブインパクト)中央27戦2勝

ミスジャスミン(16 牝父オルフェヴール)中央3戦0勝、地方55戦8勝

ムーンショット(17 牝父ディーブインパクト)中央8戦1勝

マテンロウアレス(18 騾父ダイワメジャー)中央38戦2勝(筑後川特別)、地方2戦2勝

ダイユウバルキリー(19 牝父キズナ)中央2戦0勝、地方15戦0勝

タイセイラブソディ(20 牝父ドウラメンテ)中央5戦0勝

セキトバイースト 本馬(21 牝父デクラレーションオブウォーUSA)中央14戦4勝(府中牝馬S^{Gm}、都大路S・L、壇之浦S、チューリップ賞^{GII}2着、紅梅S・L2着、ローズS^{GII}3着) 獲得総賞金141,921,000円

ジョハンニ(22 牝父エビファネア)中央7戦2勝(若葉S・L、ホープフルS^{G1}2着、京都2歳S^{Gm}2着、野路菊S^{Op}2着)◎

ソルパッサーレ(23 牝父キズナ)◎

(24 不受胎)

(25 牝父デクラレーションオブウォーUSA)

好走を重ねた実力馬が初の勲章を掴む

従来のマーメイドSを改称し、距離とコースも変更。6月の東京開催の最終週に組まれた府中牝馬Sは、ハンデ戦らしく重賞未勝利の面々が中心勢力を形成し、なかでも3勝クラスから格上挑戦してきたカニキュルが頭ひとつ抜けた支持を集めた。阪神牝馬Sの3着馬で同じく格上挑戦のラヴァンダ、同舞台の3勝クラス特別でアドマイヤマツリを差し切った実績を持つカナテープがこれに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のセキトバイースト。重賞の舞台で好走を重ねてきた実力馬が初の勲章を手にした。

主張して先手を奪った3年前のフロirasの覇者エリカヴィータが緩みの

迫ってくる、もうひと伸びして反撃の芽を摘み、危なげのないフィニッシュを決めた。